

日頃よりのご支援、ご高配に心より御礼申し上げます。

今回は、【脳血管内治療・血管撮影装置更新について】のご紹介と休診のご案内をいたします。

急性脳梗塞診療における脳卒中専門病院の強み

脳卒中治療の最前線に立つ脳卒中専門病院として、一之瀬脳神経外科病院は日々、急性期脳卒中患者の生命と機能を守るべく奮闘しています。近年、脳卒中治療は目覚ましい進歩を遂げ、特に急性期脳梗塞に対する血栓回収療法の登場は、治療成績を劇的に向上させました。

2016年のHERMES studyという研究により血栓回収療法の有効性が実証されて以来、日本でもこの治療法の普及が進んでいます。従来の治療法と比較して、患者さんの予後が格段に改善されているのです。しかし、この治療法の成功の鍵を握るのは、何と言っても時間との戦いです。

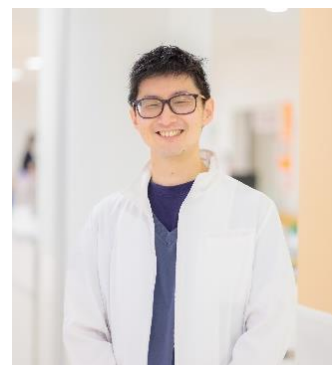
「Time is brain」という言葉が示すように、発症から再開通までの時間が短ければ短いほど、予後は良好となります。この時間短縮を実現するためには、二つの要素が重要です。

一つは、患者さん自身や周囲の方々が脳卒中の症状に素早く気づき、迅速に医療機関を受診することです。そのためには、地域社会への啓発活動が不可欠です。私たちは、広報紙やWeb記事を通じた情報発信など、様々な形で脳卒中の早期発見・早期受診の重要性を訴えかけています。

もう一つは、病院到着後の診断から治療開始までの時間を最小限に抑えることです。ここで、脳神経外科単科病院である当院の強みが発揮されます。総合病院と異なり、MRIや血管撮影室が他科の患者さんで使用しているという事態が極めて少ないのです。また、脳卒中専門のスタッフが24時間体制で待機しており、患者さんの到着と同時に迅速かつ的確な対応が可能です。

当院では、患者さんの到着から治療開始までの一連の流れを、細部にわたってマニュアル化しています。採血、画像診断、血管撮影室への移動、手術準備など、各ステップを可能な限り効率化し、時間短縮に努めています。例えば、救急車からの第一報を受けた時点で、MRIの準備を開始し、血管撮影室のスタンバイを整えるなど、先手を打った対応を心がけています。

さらに、定期的なシミュレーション訓練を実施し、チーム全体の連携強化と技術向上に努めています。これにより、どのスタッフが担当しても、常に高水準の迅速な対応が可能となっています。



脳血管内治療専門医

脳血管内治療部長 一之瀬 大輔

今回、当院では血栓回収療法をより安全で確実な治療として行うために血管撮影装置 Azurion を導入しました。従来の機器と比較して、低被曝でありながら高画質な血管撮影装置の導入は、当院の血栓回収療法の成績向上に寄与してくれると考えます。

急性期脳卒中、特に脳梗塞の治療において、私たち急性期脳卒中専門病院の果たす役割は極めて大きいと自負しています。専門性の高いスタッフ、最新の設備、そして何よりも「一刻を争う」という強い意識が、当院の強みです。患者さんが一分一秒でも早く適切な治療を受けられるよう、我々は24時間365日、全力で取り組んでいます。

私たちは、患者さんの命と健康を守るべく、常に最善の準備を整えて待機しています。一之瀬脳神経外科病院では脳卒中専門病院として、急性期脳卒中診療に今後も注力していきます。

脳梗塞で血栓回収療法目的に
連絡をおすすめする基準

1. CTで出血がない
2. 発症/最終健常確認時刻から24時間以内
3. NIHSS 6点以上
4. ASPECTS(-W) 6点以上
5. 発症前mRS 2点以下



脳梗塞発症 4.5 時間以内ならt-PAの投与、また発症 24 時間以内なら脳血管内血栓回収術ができる可能性があります。24 時間 365 日いつでもご相談ください。

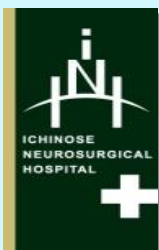
※時間外・休日の救急患者紹介は代表 TEL 0263(48)3300 へご連絡ください。

休診のお知らせ

10月5日(土曜日)は創立記念日の為、休診とさせていただきます。

ご不便をおかけして申し訳ありません。

なお、緊急の患者様のご紹介は随時承っておりますので、ご連絡ください。



一之瀬脳神経外科病院 医療連携課
(平日 8:30~17:30 土曜 8:30~12:30)



TEL 0263(48)3622 FAX 0263(48)2121